

2025 年 11 月 20 日

住友理工の新冷却チューブ、トヨタ新型 bZ4X に採用 ～低コストな材料と新構造で 80%の軽量化と電池寿命の向上に貢献～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、トヨタ自動車株式会社（本社：愛知県豊田市、代表取締役社長：佐藤恒治）が新たに発売した電気自動車（BEV）「bZ4X」に、当社の冷却配管用樹脂チューブが採用されたことをお知らせいたします。



新型 bZ4X



BEV 冷却配管用樹脂チューブ



BEV 冷却配管用樹脂チューブ（長尺タイプ）

今回採用された新しい冷却チューブは、車両フロントからリアにかけての床下部および eAxle などのモーター付近に搭載されます。従来のゴムホースに代えて BEV に適した低コストな樹脂材を使用し、大幅な軽量化を実現しました。BEV の進展にともなう冷却配管の長尺化に対応し、従来比で約 80%の重量低減に成功しています。また、部品の結合方法にレーザー溶着を採用する新構造で、冷却水の流れをより効率的に保つことが可能になりました。その結果、冷却効率が向上し、車載電池の寿命延長にも貢献しています。

住友理工グループは、経営ビジョン「2029 年 住友理工グループ Vision」にて、実現したい未来社会像として、「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」を掲げています。次世代モビリティへの進化に対応した製品の開発・供給を続けていくとともに、安全・快適の提供拡大に向けた技術の進化・融合を推進してまいります。

<bZ4X に搭載された住友理工 その他の製品>

■防振ゴム

モーターマウント

サスペンション系防振ゴム

ボデー部品（ダイナミックダンパー）

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（当社推定）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>